

わかくさ

社会福祉法人栄光会

児童養護施設 若草園

〒787-0155 高知県四万十市下田 2211

TeI (0880) 33-0247 Fax (0880) 33-0518

ホームページ⇒ <https://wakakusaen.holy.jp/>

発行：福留久美、編集：瀬戸雅弘



夏の思いで

はやく涼しくならないかと思っていた盛夏も恋しいほどの涼しい季節になりました。



仲秋の候



施設長

福留久美

さわやかな風、実りの季節を迎え、皆様におかれましては益々、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この夏、幡多地域でも生命を脅かす程の猛暑と感染拡大の猛威に悩まされました。「子どもは元気に外で遊ぶ!」と声を挙げたいところですが、それもままならず、ホールで集う子ども達には、サッシを開けて換気しながら冷房。その中で卓球やフリスビー等を楽しむ姿を見て、変わりゆく環境に一抹の不安を感じた事でした。

しかしこの自然豊かな地域性を利用しない手はなく、感染対策を行い安全面に留意して、東西南北、海や川へと出かけ、水泳やホームキャンプ等を楽しみ、自然を十分満喫できるひと夏でもありました。五感を刺激して心身の発達を期待するところです。他の施設ではこの夏も、泳ぎに行けない所があったようです。まだまだ、いきいきと生活できるこの幡多地域の環境に“感謝”です。

現在、児童福祉施設、里親等の社会的養護は大きく転換してきております。児童福祉法の改正や令和5年4月の子ども家庭庁発足等により『養育』を主としてきた私達は、『地域福祉へと支援拡充』を求められています。地域のどの子ども達も安心安全で暮らせる家庭・地域となるよう事業を展開して参る所存でございます。

今年度も半分が過ぎました。平素より当法人に対しまして物心ともに支えて頂いております全ての皆様に、深く感謝申し上げます。この冬は2つのウイルスが拡大するとも云われております。くれぐれもお体をご大切にお過ごしください。

育児相談窓口

児童家庭支援センター

わかくさ

でんわ (0880)

31-0311

24 時間 365 日

相談料無料

(通話料はかかります)



中村中学校は今年度 122 名が入学し、2 年生 158 名、3 年生 134 名、全校生徒 414 名。幡多地域でも一番大きな中学校です。



学校へ入学・転校をしました。子どもも大人も通い慣れた下田中学校が大好きだったので中村中学校に通う事への不安や淋しさがたくさんありました。しかし、中村中学校への期待の声も子ども達からあがるようになり、不安と期待が入り混じる中、四月がスタートしました。

最初は経験した事のない多数の生徒に戸惑う子どももいましたが、次第に慣れていくことができました。たくさん部活の中から自分に合ったものを選択できる事、大迫力の運動会や大きな学校ならではの行事を体験できる事は子ども達にとつて大きな成長につながっていくと信じています。



保育士リーダー 森田涼子

中学校の統合により若草園に在園している一、二年生は四月より中村中

中村中学校の子どもたち



9.20 下田・保・小・中 合同運動会
今年初の合同運動会は台風接近により順延され、平日になった事もあってごちんまりとしました。総練習で張ったテント(写真上)も一旦片付ける必要がありました。



9.18-19 台風 14 号大接近
近年は異常気象で東日本へ襲来する事が多いですが、今回は下田港も洪水寸前になりました。



暖かい秋の日差しに輝くCホーム

10.2 土佐中村一條太鼓打弾祭
若草園の子どもも加入している一條太鼓が30周年で近隣の和太鼓チームと共に文化センターで演奏会を持ちました。



ドライレコーダーの装備
交通安全のためにすべての公用車にドラレコを取り付けました。



坂道園芸

若草園入口の坂道に黄金色のリコリスが咲き誇っています。ヒガンバナ科の夏植え球根の花です。キンモク



セイも良い香りを放っています。



ぬまはらよしやの

ほのぼののホーム日記



心理療法士として、各ホームで児童の生活場面で関わっている中で出くわした楽しいエピソードを紹介します！

私の趣味の一つにフレイクダンスがあり、これを真似したがる子どもが何人かいる。他のダンスとは違い、倒立やアクロバティックな動きが多いフレイクダンスは、子どもにとって魅力的なものだろう。特に男の子はよりその傾向があるのではないかな。

「教えて！」と言っている子どもには基礎的な動きから教え、一緒に楽しんでいる。しかしフレイクダンスには欠点の一つあり、基礎的な動きが難しいということ。倒立一つにしても一日でできるようになるものではない。それでも何度も繰り返し挑戦する姿は素直にすごいと思う。フレイクダンスの動きには恐怖を感じるものが割とあるが、それをとりあえずチャレンジしてみるというのには子どもならでは、と言えるのではないかな。ダンスは自分を表現するものであり、それぞれの子どもの個性が垣間見える。少しでもできるようになっていくのを褒めた時の嬉しさや顔、側転を「見よってよ」と得意そうに見せてくる小学生の可愛らしい姿など様々だ。



▲写真はバリオリンピックを目指す沖縄の中学生(沖縄タイムズより)



夏の思い出



各ホームキャンプ
ホーム毎のキャンプは今年も夜中に雨が降ったり、台風が接近したりで予定を変更しつつも、大自然を満喫しました。



若草園を支える会 役員紹介

若草園の後援会組織「若草園を支える会」は若草園の充実、発展と入所児童の生活問題の支援・啓発に寄与することを目的に2007年(平成19年度)に発足しました。会員や賛助会員を募集して若草園の広報活動を支援しています。今回はその役員のみなさんをご紹介します。また、添付の「会報」もご参照下さい。



作文

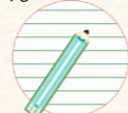
下田小6年 ぼりすくん

児童が書いた

僕は今日、安並の野球場へ日本代表とインド代表の試合を見に行きました。最初に日本代表が6点を取って、インドの代表は0点でした。だけど、あきらめないで本気でやっていました。

僕も日本代表やインド代表選手みたいに、いつも本気でやっています。でも、マラソンの時には「めんどくさいから手をぬこう」と心の中で思っていました。僕はソフトボールの試合を見て、この心の中のセリフが消えるように思いました。次のマラソンでは最後まであきらめないようにしっかりとがんばります。

「若草園の子どもの作品が掲載されました」



～11月は児童虐待防止月間です～

児童虐待防止推進月間にあわせて高知県では県内5つの児童家庭支援センターと関係機関が協力して広報と啓発活動をしています。

児童虐待かもと思ったら
すぐにお電話ください。

いち はやく
189

通話料無料

【令和4年度虐待防止標語】

「もしかして？」 ためらわないで！ いちはやく 189



みんなで 地域で
子どもたちの笑顔を守りましょう



夏休みの帰省状況

お盆と暮れには若草園の子ども達は家庭に一時帰省します。

全国的には帰省によるコロナ感染の再流行となる怖れもありましたが、若草園の場合は幸い、帰省先の衛生対策の協力もあり、帰省による感染拡大はありませんでした。

子ども達の帰省先には若草園の職員宅や週末里親もあります。「ファミリールーム利用」とは、保護者が若草園にやって来て子どもと時間を過ごすことです。



【帰省日数】	【帰省先】
外出・面会	ファミリールーム利用 5人
2泊3日	母宅 5人
3泊4日	両親宅 3人
4泊5日	祖母宅 2人
それ以上	父宅 2人
帰省なし	職員宅 2人
	週末里親 2人
	帰省なし 3人

若草園ではこの夏、台風からも水難からも守られて感謝だった。▼「七里ヶ浜の哀歌」という童謡をご存じだろうか。歌の内容が2度ほど映画化されているので「真白き富士の嶺」でピンと来る方があるかも知れない。鎌倉沖での水難事故を歌っている。とても穏やかな叙情的な歌だが由来を知って息が詰まる思いがした。その後、教会で歌われる聖歌(賛美歌)に、同じメロディーがある事を知った。▼この事故が起きたのは1910年。保育の父・佐竹首次郎が鎌倉保育園を設立して5年目。この年は音次郎も長男を病で失っている。▼♪み空に輝く朝日のみ光／闇に沈む親の心／黄金も宝も何にし集めん／神よ早く我も召せよ▼事故から4日目までに12人の犠牲児全員は変わり果てた姿で海から引き上げられた。4節の歌詞の通り、浜辺で半狂乱となった母の姿が涙を誘ったと記録されている。▼知床観光船事故から半年となり、未だ6名の行方不明者がある事をニュースにて知った。当たり前の平穏が崩された時、失ってはじめて分かる尊さを感じる事がある。高度に成長した文明社会にあっても、時として、人は大自然に無力さを感じる事がある。だからこそ、大切にしなければならぬものが見えてくる。(せつ)

編集後記



令和4年度上期 ご寄付一覧表 (2022. 4. 1 ~ 9. 30)

皆様に心から感謝申し上げます。 < 50音順・敬称略 >

- *寄付物品**
- 青木 浩 (手作りケーキ)
 - 岩瀬 みどり (中古掃除機)
 - 岩瀬 幸吉 (キュウリ)
 - オートキャンプ場とまるっと (備蓄米処分品)
 - 心Reborn協会 (絵本)
 - 斉藤 正七郎 (鳥取スイカプレミアム)
 - 澤田 二 (花苗)
 - 三和商事(株)松村三子 (カレーフレーク)
 - 食卓クラブ 本間ゆみ (園芸用品)
 - 白井 敬子 (ニンニク、瓢箪カボチャ)
 - DASKA & DESIREE (チョコレート)
 - 田中 則明 (釣り竿8本)
 - 匿名 (砂糖、タオル、バスタオル)
 - 匿名 (スポーツドリンク)
 - 匿名 (キュウリ、タオル)
 - 中越 (コミック本25巻)
 - 中村ロータリークラブ (鰹、米、飲料、ケーキ)
 - 日本教職員組合高知支部 (図書券)
 - ハシミ 真規子 (スイカ)
 - 橋村和彦・るみ (中古玩具)
 - 原 雅彦 (カボチャ、甘唐辛子、キュウリ)
 - フジユニオン (ソーラー付ポータブル電源)
 - ボーイスカウト 宮川 (スポーツドリンク)

- 細川 秀信 (ジャガイモ)
 - 前田 亮 (2回)(菓子)
 - 水野 小百合 (3回)(新タマネギ、スイカ)
 - 門司 一徹 (文具)
 - 山沖 美枝子 (テレホンカード)
 - 吉野 國彦 (ビジネス書)
- ⇒34人32口 時価総額¥203,200

- *寄付金**
- 遠藤 光一
 - 河内屋
 - 三宮 比佐子
 - 中塚 千恵美
 - 林 博
 - 宮部 水秋
 - 山本 英
- ⇒7人 ¥109,000



- *ボランティア**
- CHELSEA (チェルシー) → 理容
 - 中村ロータリークラブ → 菓焼きタタキ体験
 - 若草園を支える会 → 機関誌発送作業